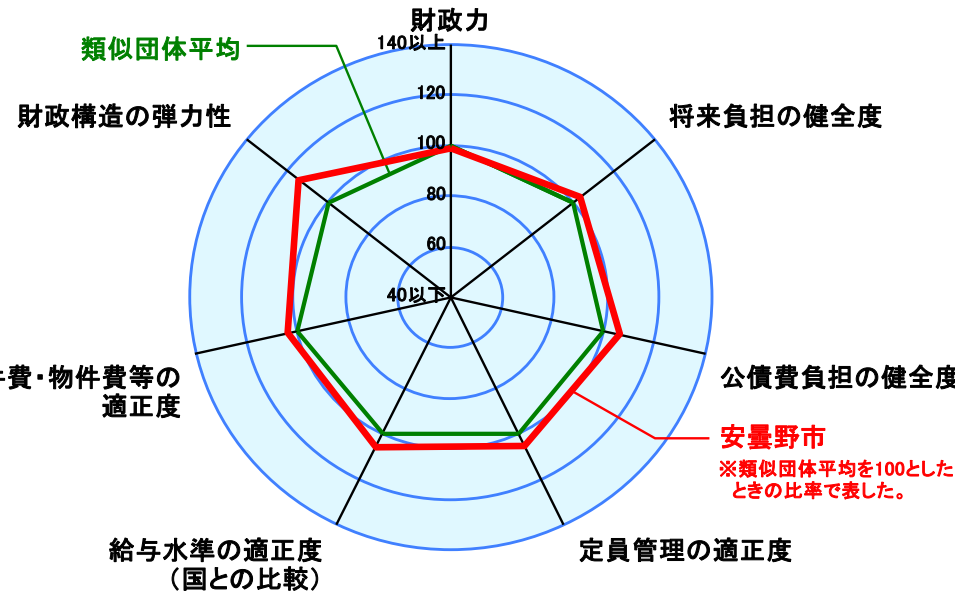
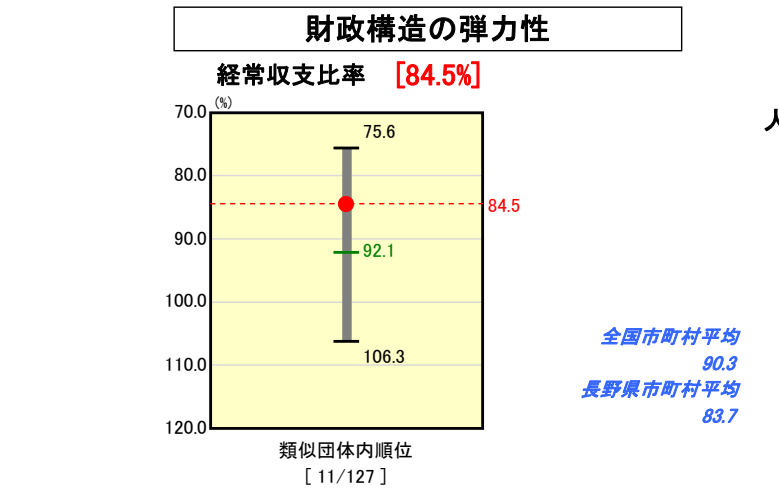
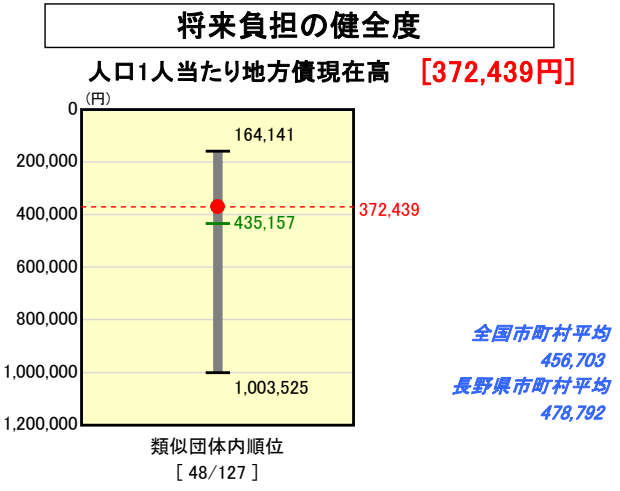
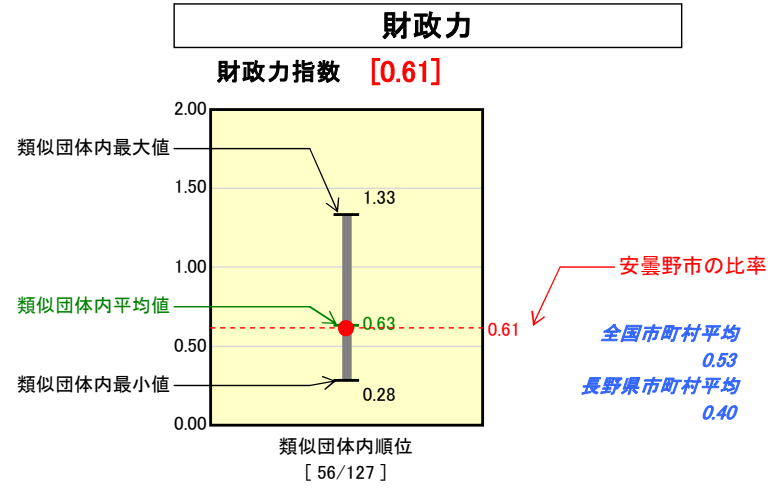


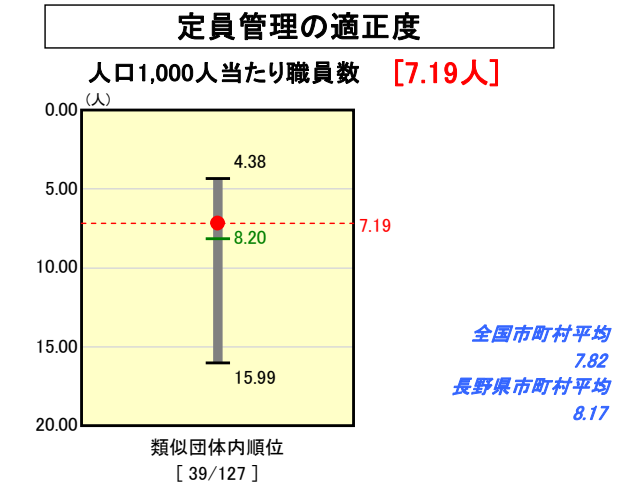
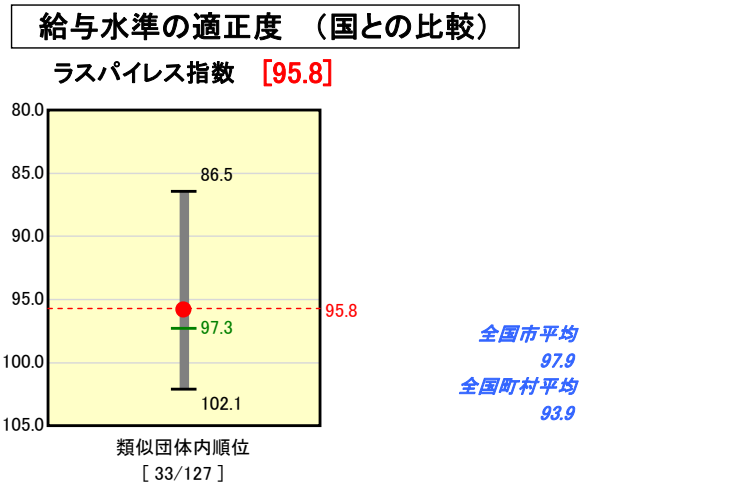
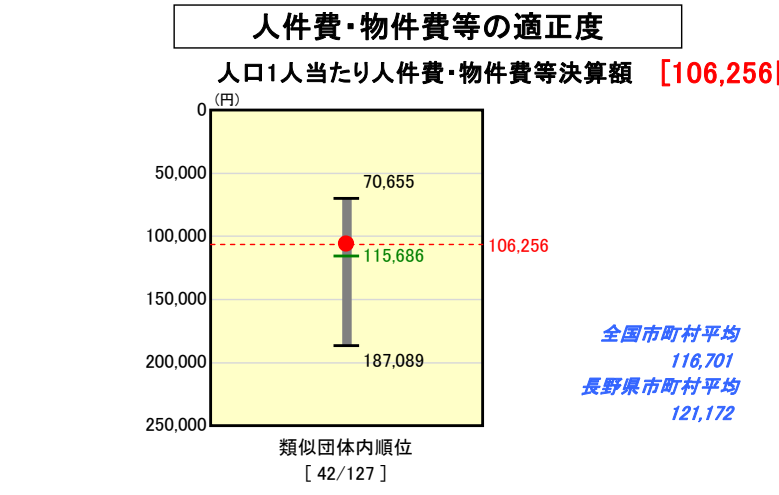
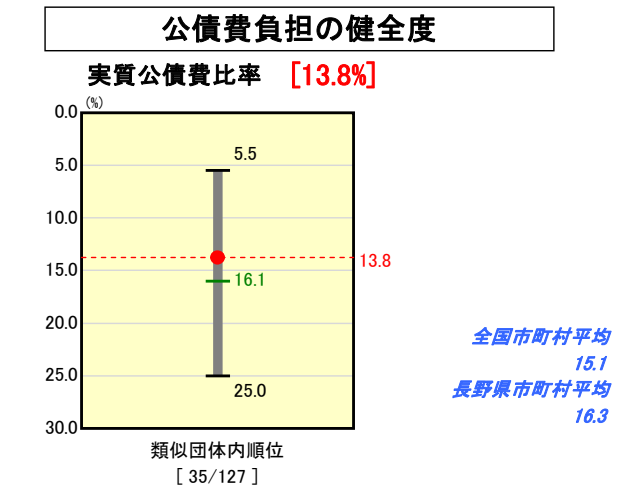
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 安曇野市

人口	97,200人	(H19.3.31現在)
面積	331.82	km ²
歳入総額	36,241,658	千円
歳出総額	35,680,648	千円
実質収支	192,933	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
 指数は0.61、前年より0.02ポイント上昇しました。三位一体の改革による税源移譲や、合併による人件費等の需要額削減が反映された結果です。指数は過去3か年の平均ですが平成18年度単年の指数は0.65でした。税込確保や収納率向上に向け、コンビニ収納導入等を進めます。

○経常収支比率
 比率は84.5%、前年より1.8ポイント増加しました。内容は人件費△1.7ポイント、下水道事業等への繰出金が3.1ポイント増によるもので、類似団体比較は7.6ポイント低い値でした。比率が高くなるほど財源の使途が固定していることになるので、事業の見直しや経費の削減を進め、財政構造の柔軟性維持に努めます。

○人口1人当たり人件費・物件費
 金額は106,256円、前年より10,147円減少しました。合併関係経費の減少によるものです。行政評価等による事務事業の見直しや指定管理者制度の導入による効率的な施設運営、行政スリム化を進め、経費の抑制、削減に努めます。

○人口1人当たり地方債現在高
 現在高は372,439円、前年より8,436円増加しました。生活道路の整備、学校給食センター、プール等学校施設整備などの財源として交付税算入のある市債を活用したことによりです。今後も安曇野市まちづくり計画による事業が予定されていますので、地方債現在高の推移には留意してまいります。

○実質公債費比率
 比率は13.8%、昨年と同率でした。18年度から導入されている比率で、普通会計の公債費負担額と合わせ、下水道会計等の公債費償還財源に充てられた繰入金も合算されますので、市全体としての発行額抑制や平準化を図り、実質公債費比率の上昇を抑制してまいります。

○ラスパイレズ指数
 指数は95.8、前年より0.3ポイント上昇しました。類似団体の平均は下回っていますが、給与や定員管理の適正化を進め、職員配置による人件費総額の削減に努め、業績評価制度の導入によって職員個々の能力も高めていく方針です。

○人口1,000人当たり職員数
 職員数は7.19人、前年より0.15人減となりました。行政経営改革プラン実施計画の確実な実行により、簡素で効率的な行政運営の実現に向けた取り組みを進め、市民サービスの更なる向上と社会経済状況等の変化に柔軟に対応できる安曇野市を目指します。